

さまざまな取り組み

# 消防の 広域化

増加する救急搬送や複雑多様化・大規模化する災害に対して、迅速かつ効率的に対応するため、平成26年4月に奈良県広域消防組合が設立されました。37市町村が参加する、全国でも例をみない規模の組合です。

現在、組合の消防本部では、平成28年4月1日の運用開始に向け、高機能通信指令システムの整備を行っています。

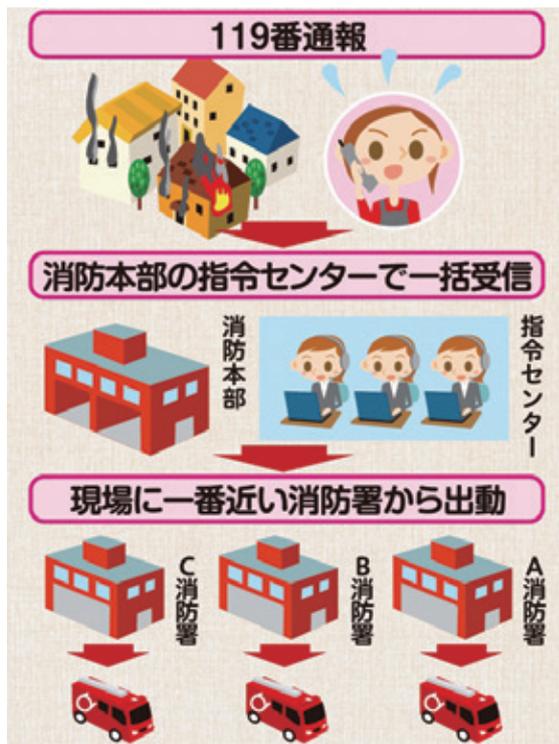
このシステムの完成により、消防署間の連携が強化され、早期の消防・救急活動が可能となります。

役立つ「高機能直近機能システム」を装備しています。

通信指令員は、通常時8名で119番通報に対応しますが、災害規模に応じて増員し、最大で24名で対応することが可能です。

この指令システムは、年間9万件にのぼる通報に対応するため、最新の情報通信技術を備えたものです。GPSを利用し、災害位置情報が自動的に把握できる「統合型位置情報システム」や現場到着時間短縮にも

## 通信指令システム整備イメージ図



『県民だより奈良』平成26年10月号より

さまざまな取り組み

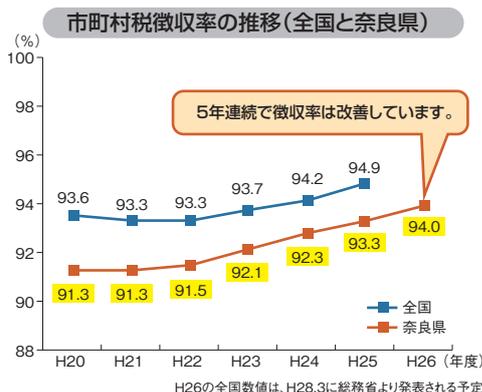
# 市町村税の 税収強化

地方税（県税、市町村税）は、地域社会をより豊かで住みよいものにするための教育、福祉、道路整備等の仕事を進めるうえで大切な財源です。ところが、中には、納期限が過ぎても、理由もなく滞納される地方税も存在します。そこで、県と市町村の職員が協働して滞納となった地方税の徴収に努めるなど、徴収率の向上をめざすためのさまざまな取組を行ってきました。

具体的には、県と市町村の職員が相互に身分を併せ持ち、チームを組んで地方税を共同徴収しており、平成27年度は、県・大和高田市・香芝市の職員からなるチームで徴収強化に取り組んでいます。

また、近隣の市町村（磯城郡及び北葛城郡の7町）で徴収のための事例研究を行うことにより、徴収技術のノウハウを共有し、県がその助言を行うなどの取組を実施しています。

（この部分のテキストは上記の段落と重複する内容を含みます）



県・大和高田市・香芝市の職員からなるチームでの取組